

まち

この府中がすきだから。



2011年府中市議会議員選挙 公認決定！

蓮舫元秘書

須山たかし

さん

須山たかしさんを応援しています！

須山たかしさんをととても信頼しています。
府中に新しい風を吹き込むことを期待しています。

—— 蓮舫参議院議員



蓮舫
(参議院議員)



小山有彦
(東京都議会議員、府中市選出)



市民の生活 が第一。

須山たかしの基本政策

当たり前前に生活できるまちづくり

たとえば、足の不自由な人や子ども連れの方には、たった1cmの道路の段差も歩くときの負担になります。色々な人たちの視点に立ち、誰もが当たり前前に生活できる暮らしやすいまちづくりをします。

子育てしながら働ける環境づくり

待機児童の解消や校庭の芝生化100%など迅速に取り組めます。また、未来を担う子どもたちが健やかに育つよう、お父さん、お母さんが働きやすい環境をつくり、地域社会全体で子育てを後押しします。

開かれた市政づくり

私たちが払った税金がどう使われているのか？それをチェックするのが市議会の役割です。まずは税金で運営されている市議会をネット中継などですべて公開し、誰でも参加できる開かれた市政を実現します。

歴史・文化を活かした府中づくり

府中市には、国府としての歴史だけでなく、白糸台の掩体壕（えんたいごう）など歴史的な遺産が数多く存在します。こういった遺産を大切に保存・伝承し、過去と未来を繋ぐ魅力あふれる府中をつくります。

須山たかしプロフィール

1980（昭和55）年11月6日生まれ。府中市晴見町育ち。明星幼稚園、桐朋小、桐朋中、桐朋高を経て早稲田大学社会科学部に入学。卒業後、民間の特許事務所に3年半勤める。その後、政党本部スタッフ、参議院議員公設秘書など国政に従事。蓮舫（れんぼう）参議院議員の秘書を務めた後、地域主権を進めるため、地元の府中市で民主党東京都府中市支部政策委員として、地域に密着した活動を展開している。

蓮舫 × 須山たかし



対談

蓮舫：「この府中（まち）が好きだから」というキャッチコピーは須山さんらしいですね（笑）

須山：はい。ストレートなコピーですが、約2年間を政党職員や議員秘書として活動しているなかで、やはり、「国を変えるにはまずは地域が変わらないといけない」と考えるようになりました。

蓮舫：そうですね。政権交代から1年が経過し、事業仕分けをはじめ、いろいろな取り組みをしてきました。お叱りを受けることもあります。全てを真摯に受け止め日々努力しています。私たちが目指しているのは、これまで国が決めてきたことを地方自身に決定権をあたえるという地域主権です。地域の住民が責任を持って決めることのできる活気に満ちた地域社会をつくっていくことです。

須山：地域のことはそこに住む人が一番理解しています。だからこそ、地域の活動の中心となる地方議会の重要性が増します。府中に住む者として、これまでの経験を活かし、育ててもらった恩返しをしていきたいです。

蓮舫：ぜひ、府中から日本を変える意気込みで頑張ってください。
須山：ありがとうございます！ 私は、府中市が福祉や教育の分野で日本中から目標とされる「府中モデル」をつくりたいと思っています。私たちの社会はお年寄りから若い人まで、様々な人が互いに支え合いながら生きています。だからこそすべての人たちが政治や社会に関心を持ち、これからの府中についてともに語り合える土台を築き上げたいです。